

県人に聞く 2

選択

知事選2012

AMDAグループ代表

菅波 茂さん 65



1946年、広島県神辺町（現・福山市）生まれ。岡山大医学部に進学する。行が79年にカンボジア難民への支援を行うため、タイに入ったが、受け皿が多く、なかなか活動できなかったことを教訓に84年、国際医療支援のNGOとしてAMDAを設立。世界30か国にネットワークで活動している。

県がキャッチフレーズにしている「晴れの国おかやま」じゃあ、ダメです。日照時間の少ない、他の地域の人をひそかに傷つけています。

岡山にあるのですか」と聞かれるたび、「岡山が素晴らしい街だからです」と説明するのですが、国際的にはなかなか理解してもらえないからではないかと思います。

る気がします。本来は困っている人の気持ちが分かる土地柄なんじゃないですか。

例えば、川崎医科大学創設者・川崎祐宣さんと知事だった三木行治さんが協力して1956年に設立し、肢体不自由児、知的障害児らたちの誇りです。AMD

Aも県と一緒になつて、貢献を続けることができると思います。

一方、県内では今、弱者を見つけては痛めつける状況も散見されます。学校で

名実共、弱者に優しく

石井知事在任中の2004年に施行された「県国際貢献活動推進条例」も最初の都道府県条例で、私

も見つけては痛めつける止を求めるたいと思います。

次の知事にはみんなが暮らしやすい街にする福祉立県を目指してもらいたい。

岡山について尋ねられた

ら、「住民が分け隔てなく過ごせるノーマライゼーションの街ですよ。世界に誇る優しさがあるんです」と答えたのです。名実共に弱者に優しい県になれば、私もそうアピールします。きっと、今よりもっと多くの外国人が、「岡山を見たい」と立ち寄ってくれるはずです。地域の活性化にもつながると思います。